

# 令和6年度 教科研修会 I に向けた授業の構想

国語科

## 1 国語科の研究テーマ

文章を読んで理解したことなどに基づいて、  
自分の考えを形成する力を高める学習の在り方

## 2 国語科として育成を目指す資質・能力の受け止め (研究テーマに示す力が高まっている生徒の具体の姿)

- ・理解したことを説明したり、他者の考えの根拠などを知ったりすることを通して、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行っている姿  
(1学年、「C読むこと」領域)
- ・他者の考えの根拠や道筋などを知り、自らのものと対比することを通して、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている姿 (2学年、「C読むこと」領域)
- ・文章に表れたものの見方や考え方や、他者のものの見方や考え方を比較することを通して、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている姿 (3学年、「C読むこと」領域)

## 3 単元名・学年 「『学ぶこと』について考えるー「論語」ー」・3年

## 4 単元の概要 (全4時間扱い 本時は第3時)

### 単元の学習問題

今の自分にとって「学ぶ」とは、どのようなことだろうか。

### 単元展開

時間	学習活動
第1時	<p>◆<u>単元の学習の見通しをもつ</u></p> <p>・「学ぶこと」とは、自分にとってどのようなことかを共有し、この単元では孔子の「学ぶこと」に対する考えをふまえ、改めて自分で「学ぶこと」を意味づけるという見通しをもつ。</p> <p><b>【単元の学習問題】</b> 今の自分にとって『学ぶこと』とは、どのようなことだろうか。</p>
第2時 ～ 第3時 (本時)	<p>◆<u>孔子のものの見方や考え方を捉える</u></p> <p><b>【学習問題】</b> 孔子の言う「学ぶこと」とはどのようなことだろうか。 <b>【学習課題】</b> 四つの章句で述べられていることを共有し、「学ぶこと」について共通している考えを見つけよう。</p> <p>・四つの章句から一つ選び、言葉の意味や時代背景に着目しながら、個人でその章句に表れている孔子のものの見方や考え方を捉える。 ・他の章句を追究した友と考えを共有し、共通点に着目して、孔子の「学ぶこと」に対する考えを捉える。</p>
第4時	<p>◆<u>単元の学習問題に対する考えをまとめ、単元の学習を振り返る</u></p> <p>・孔子の言う「学ぶこと」と自分の考える「学ぶこと」を比較して見いだしたことをふまえ、単元の学習問題に対する考えをまとめる。</p>

# 国語科学習指導案

令和6年5月15日(水) 5校時 3年D組教室

授業学級 3年D組(41名)

授業者 村田 茜

- 1 単元名 「学ぶこと」について考える ー論語ー
- 2 主眼 ※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している  
孔子の言う「学ぶこと」とはどのようなことかを考える場面で、四つの章句で述べられていることを共有し、「学ぶこと」について共通している考えを見つけることを通して、孔子の言う「学ぶこと」について複数の章句に共通する点に触れて説明することができる。【C(1)イ】
- 3 単元の学習問題：今の自分にとって「学ぶこと」とはどのようなことだろうか。
- 4 本時の位置(全4時間中 第3時)  
前時：四つの章句から気に入ったものを一つ選び、言葉の意味や時代背景に着目しながら、個人でその章句に表れている孔子のものの見方や考え方を捉えた。  
次時：孔子の言う「学ぶこと」と自分の考える「学ぶこと」を比較し、単元の学習問題に対する考えをまとめる。
- 5 展開

段階	活動	予想される生徒の反応	教師の指導・助言 評価	時間
導入	1 前時をふりかえり、本時の学習の見通しをもつ。	単元の学習問題：今の自分にとって「学ぶこと」とはどのようなことだろうか。 ア 第一章句から、孔子は「自ら学び、友と考 え、信念を貫き通すことが大切だ」と考えて いると思った。他の章句を追究した友はど のような考えをもったのだろう。 イ 第一章句と第二章句では、何度も復習す ることと、学ぶことと考えることを繰り返 すことについて述べられている。他の章句 の間にも共通点があるのではないか。	・前時、個人で追究した章句を 確認し、アのような生徒の反 応から、学習問題を設定す る。 ・いくつかの章句について、前 時のまとめを紹介し、イのよ うな反応から、学習課題を据 える。	10 分
		学習問題：孔子の言う「学ぶこと」とはどのようなことだろうか。 オ Aさんは、第一章句の「楽しい」を自分の 経験とつなげながら、継続的な状態だと表 現していた。第四章句の楽しいも、一瞬では なく学ぶことを楽しみ続けるという点で共 通点がありそうだ。	・いくつかの章句について、前 時のまとめを紹介し、イのよ うな反応から、学習課題を据 える。	
		学習課題：四つの章句で述べられていることを共有し、「学ぶこと」につい て共通している考えを見つけよう。		
展開	2 四つの章句で述べられていることをもとに、グループで共通点を考える。	ウ 第二章句は、過去に学ぶことと、新たに創 造することは、どちらも大切であるという こと、第三章句は、自分で考えることも広く 人に学ぶことも必要だと述べられていた。 孔子は、学びにおいてバランスを取ること が必要だと考えていたのかもしれない。 エ 第四章句は、知ることより好んで取り組 むこと、好んで取り組むより楽しんで取り 組むことがよりよいと述べられていた。「楽 しい・楽しむ」は第一章句にも出てきたが、 意味は同じだろうか。	・前時追究したことを共有す るように促す。 ・各章句について、孔子の言う 「学ぶこと」に対する考えを 板書し、共通点を見つけるよ うに促す。 ・エのように、複数の章句に共 通する言葉に注目している 生徒の意見を取り上げ、それ らの意味に共通する部分は ないか問い、さらに追究する 場を設ける。 ・追究が進まない生徒には、一 度に四つの章句について考 えるのではなく、二つに絞っ て比較するように促す。	22 分
	3 共通点について全体で共有する。	カ 第一章句の友と学ぶ部分と第三章句の広 く先人に学ぶということから、孔子は様々 な考えに触れることが大切だと考えてお り、「楽しい」にもつながっていそうだ。	・カのように、四つの章句に共 通する点に触れて考えてい る生徒の反応を取り上げ、全 体で共有する。	
終末	4 学習問題に対する自分の考えをまとめる。	キ 孔子の言う「学ぶこと」とは、他者との関 わりや外からの働きかけを受けて学ぶ過程 の中に楽しさを見だし、大切にしていると 考えた。私は「わかった」という瞬間が「楽 しい」と感じていたが、今日の友との共有を 通して、考えている過程もたしかに「楽し い」ものだと気付いた。これからも学びを 「楽しむ」ことについて考えたい。	・孔子の言葉について理解し たことをふまえて書くよう に促す。 孔子の言う「学ぶこと」につ いて、複数の章句に共通す る点に触れて説明すること ができる。(ワークシート)	10 分